

## 第2回 一宮川流域における令和5年台風第13号による災害検証会議 議事概要

- 1 日時 令和5年12月28日(木) 10:00~11:10
- 2 場所 千葉県庁 本庁舎1階 多目的ホール
- 3 出席 加藤座長(web)、二瓶委員(web)、服部委員(web)、  
江森オブザーバー(web)

### 4 委員からの意見

#### (1) 第1回会議における主な意見と対応方針について

- ・事務局から資料1「第1回 災害検証会議における主な意見と対応方針」を説明。

#### (2) 浸水に関する情報の収集状況について

- ・事務局から資料2「浸水に関する情報収集の状況について」を説明。
- ・委員から以下の意見があった。
  - 映像解析やヒアリング等、丁寧な調査がされている。
  - これらの充実した資料から、浸水範囲や浸水深がどのように進展したかを時系列でまとめるとともに、地形情報と重ね合わせ、メカニズムを明らかにする。
  - 越水箇所や氾濫状況などについて、新たに確認ができた際には、確実に情報として整理すること。

#### (3) シミュレーションモデルの方向性について

- ・事務局から資料3「災害検証のシミュレーションモデル」を説明。
- ・委員から以下の意見があった。
  - まずは、茂原市街地における内外水による浸水状況の再現ができるシミュレーションモデルを構築し、その上で、今後の流域治水のあり方を検討するための河川整備などによる効果の検証や、仮締切堤防の高さ不足による影響の検証など、目的や氾濫の仕方を踏まえたシミュレーションを行う。  
これらをシミュレーションモデルを構築していく方針とする。
  - 地上観測雨量やレーダー雨量など、各降雨データを比較し、9月8日当日の再現性が確保できるよう設定していく。
  - シミュレーションモデルによる解析には限界があり、一定の不確実性があることを認識して結果を見ていく事が重要である。

以上